

的確かつ迅速な活動により人的被害を防いだ

南陽市小滝地区自主防災会

南陽市の北部、一級河川吉野川の上流部に位置する小滝地区。
平成25年7月18日、これまで経験したことのない豪雨に見舞われ、川と道路の境目が全然わからないほどでした。自主防災会の役員は直ちに避難体制をとり、土砂災害の危険性がある区域の住民に自主避難を促すとともに、役員が住民に付き添い徒歩で避難所に避難させました。その後地すべりが発生し、避



大雨に見舞われた南陽市小滝地区

難した住民の住宅1棟が全壊しました。自主防災会の的確かつ迅速な活動により、人的被害を防ぐことができたのです。

平成26年7月、地区は再び豪雨に見舞われましたが、前の年の経験を活かし、皆ですぐに見回りを行い、被害が及びそうな住宅を中心に避難を呼びかけ、大きな被害を出さずにすみました。